



2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

2022年8月10日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2023年3月期 第1四半期実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

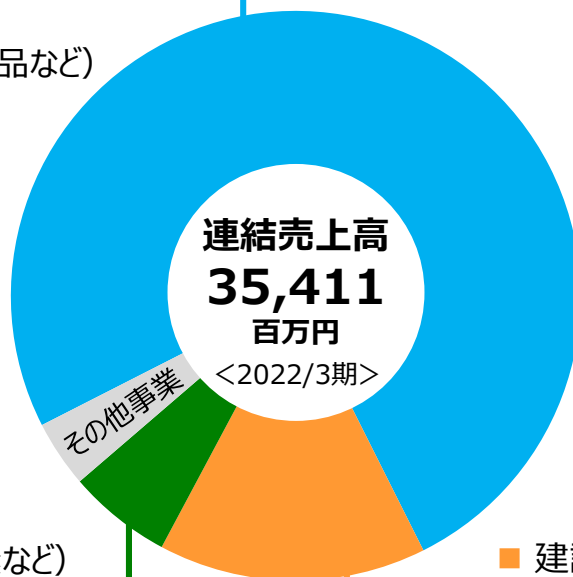
商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	600名（連結） <2022年3月31日現在>

化成品事業 27,585百万円／77.9%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、
消臭剤など）

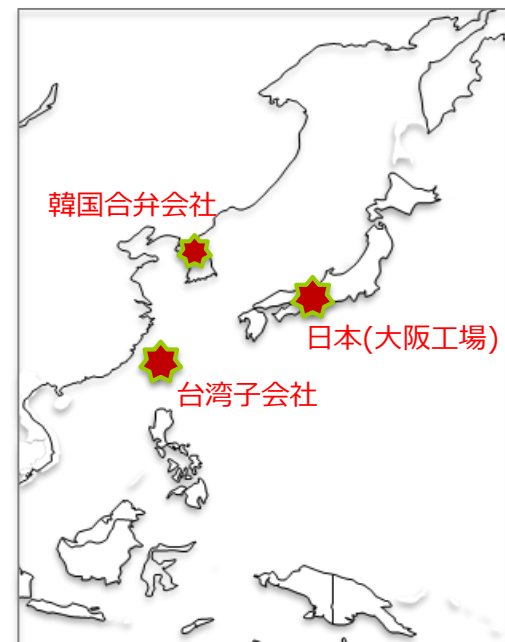
- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,997百万円／5.6%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 4,766百万円／13.5%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2023年3月期 第1四半期実績

2023年3月期 第1四半期 決算概要

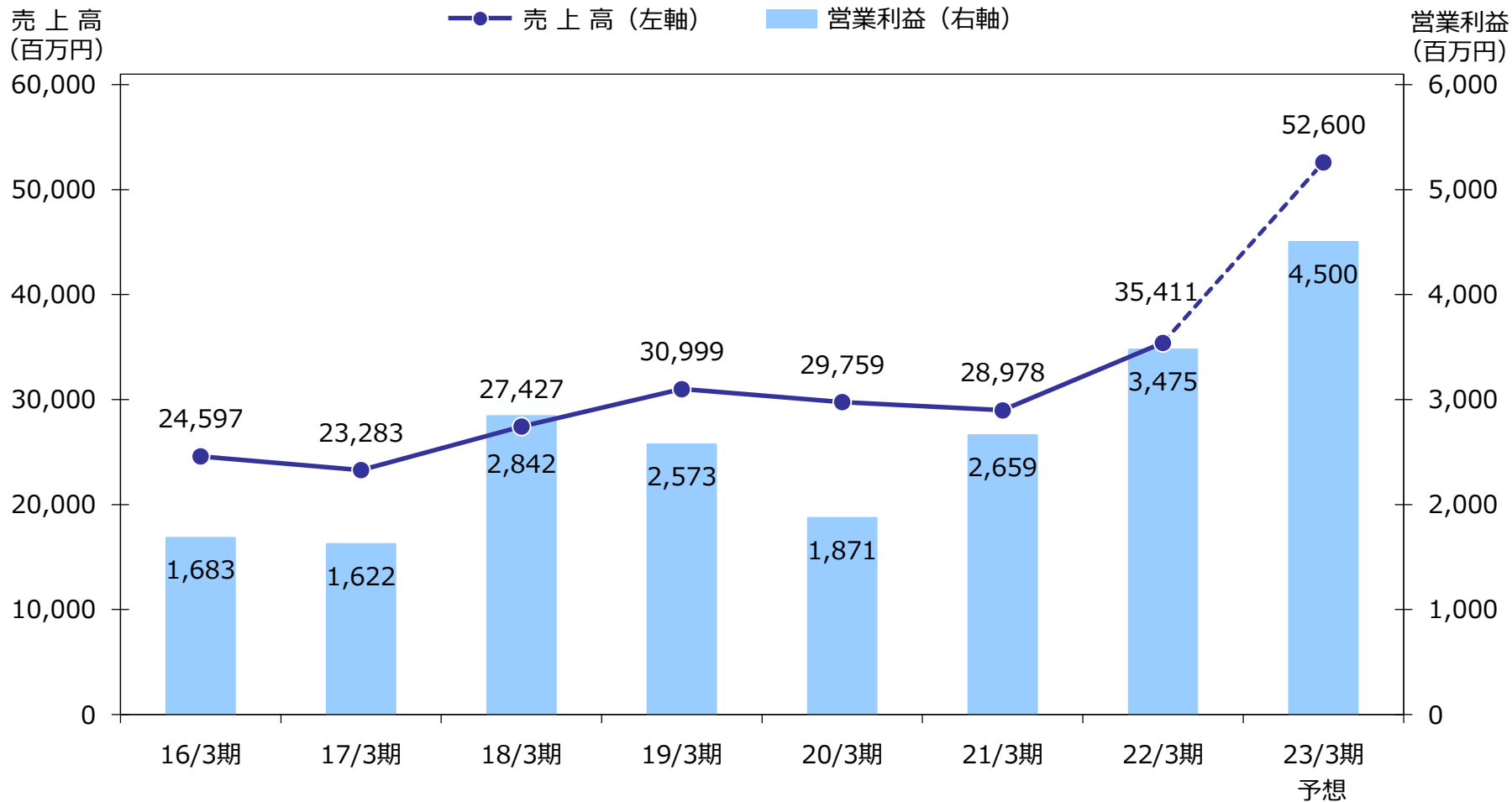
- 売上高は、化成品事業における半導体向け高純度品が国内外ともに堅調に推移し、前期後半からの原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり増収。
- 営業利益は、化成品事業の伸長により、大幅な増益。

(単位：百万円)

	2022/3期 第1四半期	2023/3期 第1四半期	増減	前年同期比	第2四半期 予想	通期予想
売上高	7,793	12,110	4,317	55.4%	25,900	52,600
営業利益	749	1,392	643	85.8%	2,500	4,500
経常利益	788	1,507	719	91.1%	2,600	4,600
親会社株主に帰属する 四半期純利益	522	1,011	489	93.6%	1,800	3,200
(減価償却費)	378	448	70	18.5%	(2022年8月10日 見直し)	

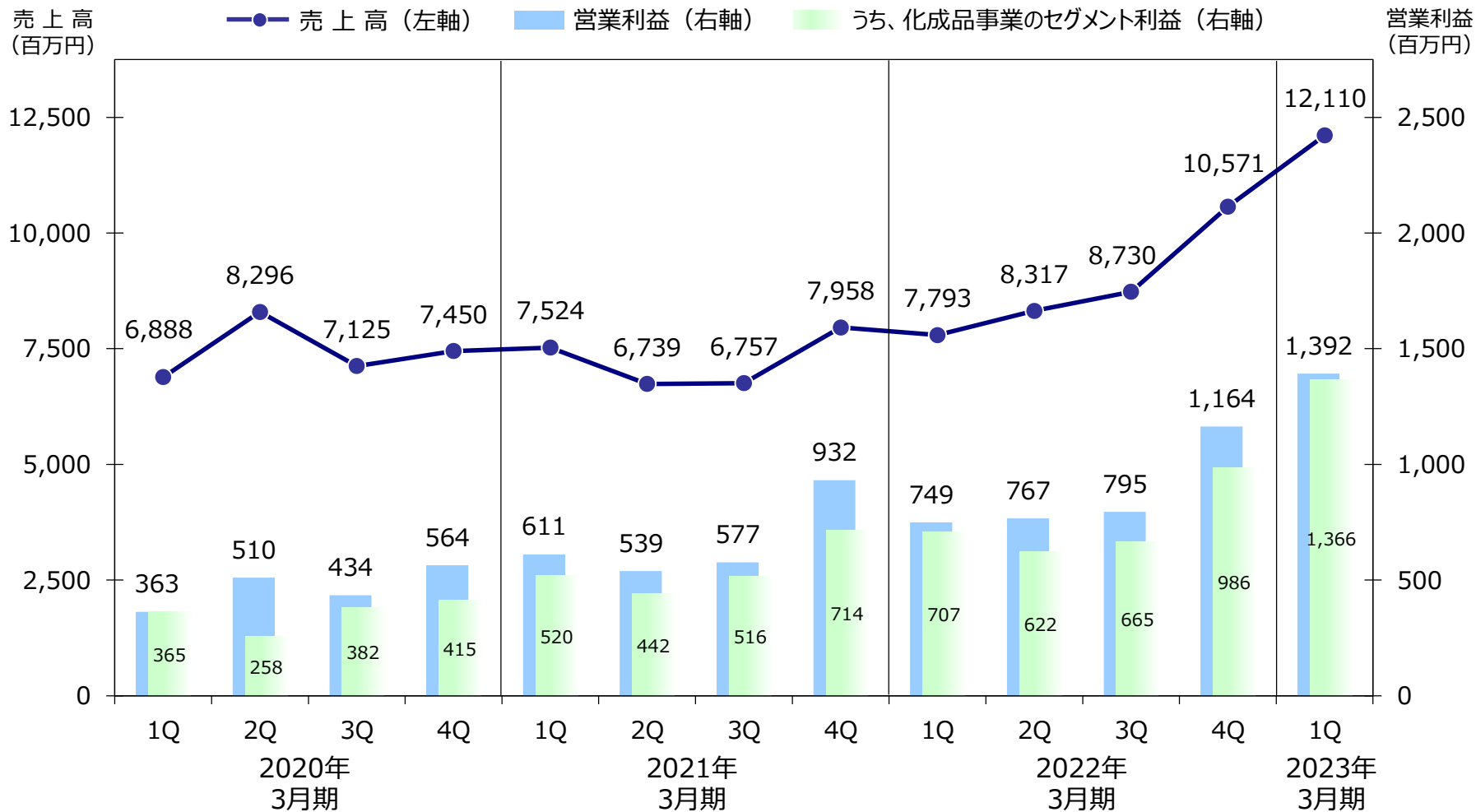
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移

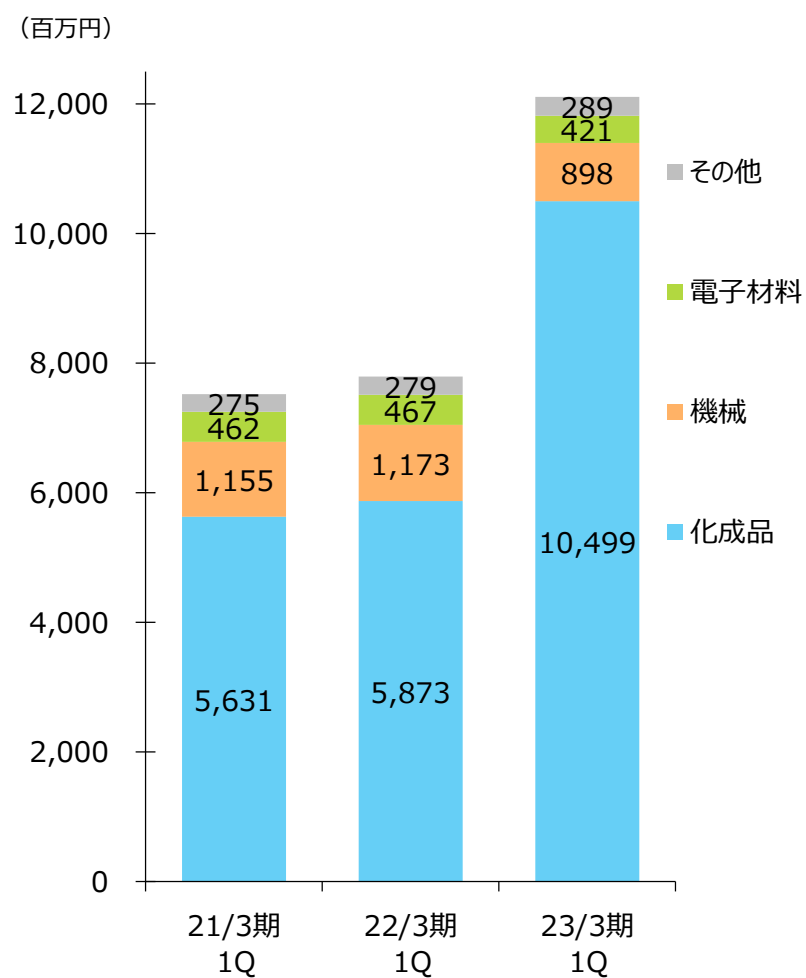


2023年3月期 第1四半期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

(単位：百万円) (百万円)

	2022/3期 第1四半期	2023/3期 第1四半期	増減	前年 同期比
化成品	5,873	10,499	4,626	78.8%
機械	1,173	898	△ 275	△ 23.4%
電子材料	467	421	△ 46	△ 9.7%
その他	279	289	10	3.4%
合計	7,793	12,110	4,317	55.4%

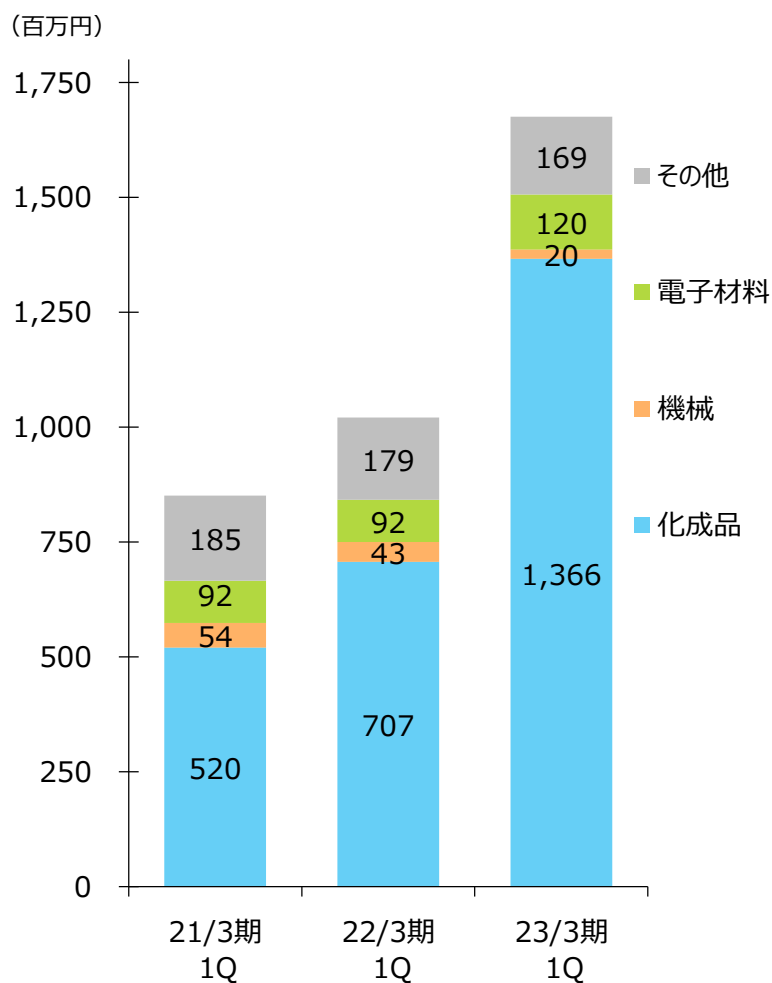


2023年3月期 第1四半期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

(単位：百万円) (百万円)

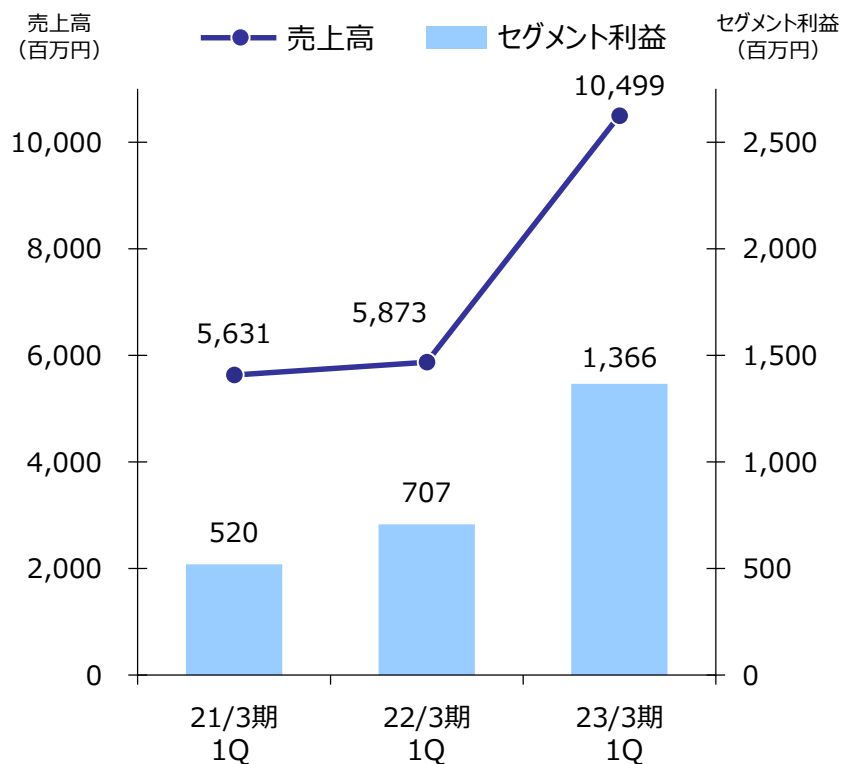
	2022/3期 第1四半期	2023/3期 第1四半期	増減	前年 同期比
化成品	707	1,366	659	93.1%
機械	43	20	△ 23	△ 53.9%
電子材料	92	120	28	29.4%
その他	179	169	△ 10	△ 5.4%
(調整額)	△ 273	△ 283	△ 10	-
合計	749	1,392	643	85.8%



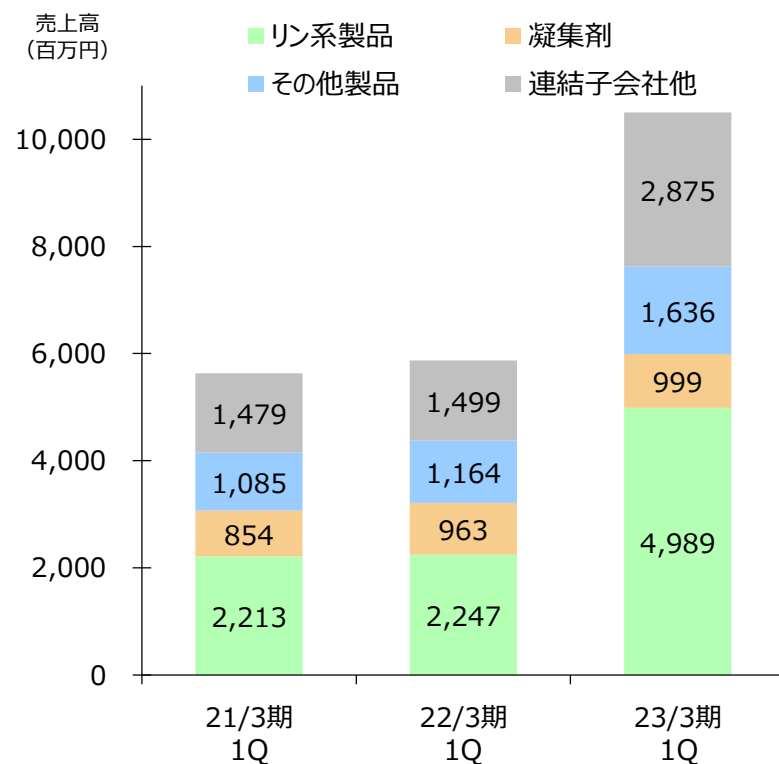
化成品事業

- リン系製品は、半導体向け高純度品が、国内外共に堅調（連結子会社分を含む）。原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり増収。
- 凝集剤は、エッチング用途向けが堅調に推移し増収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が堅調に推移し増収。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

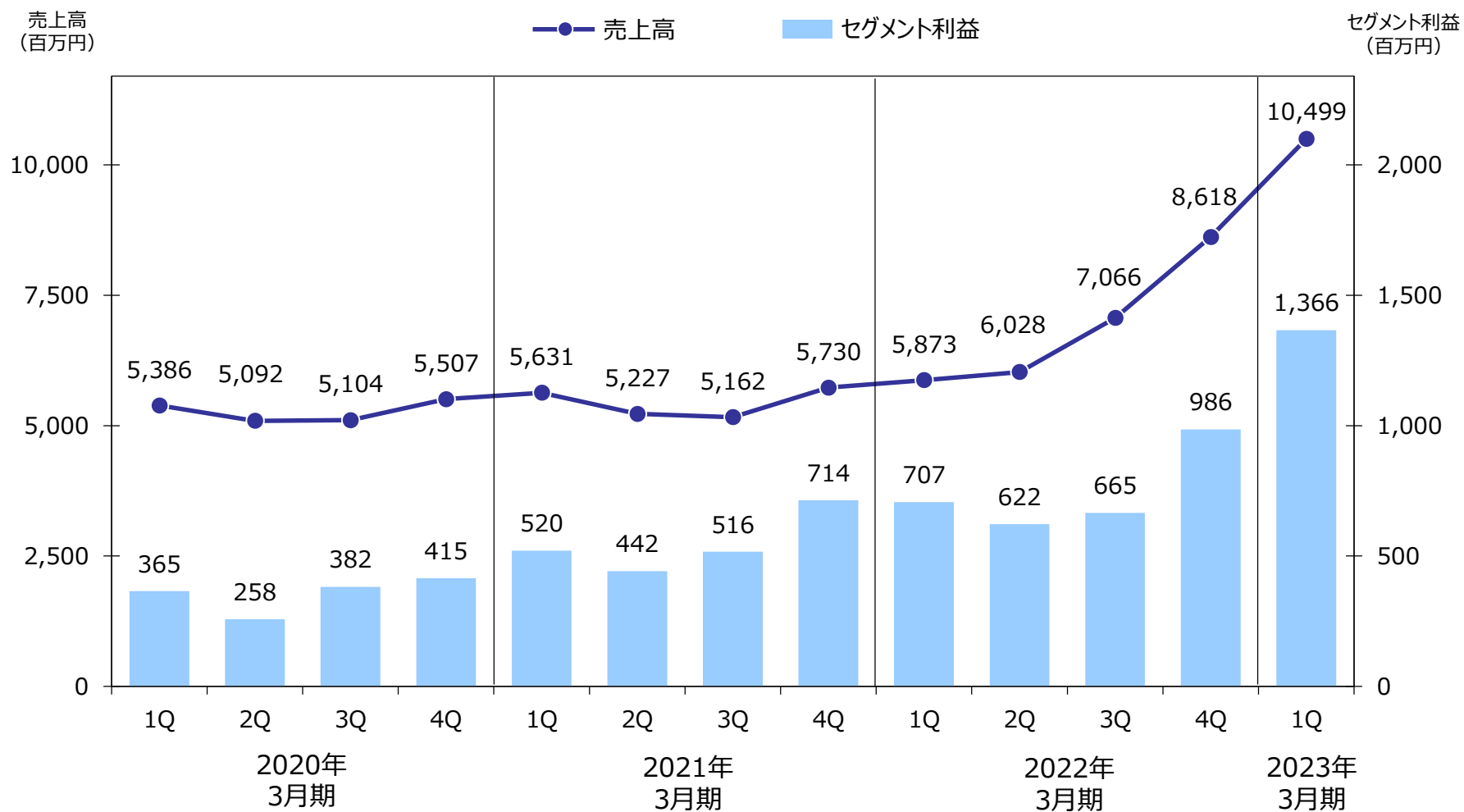


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

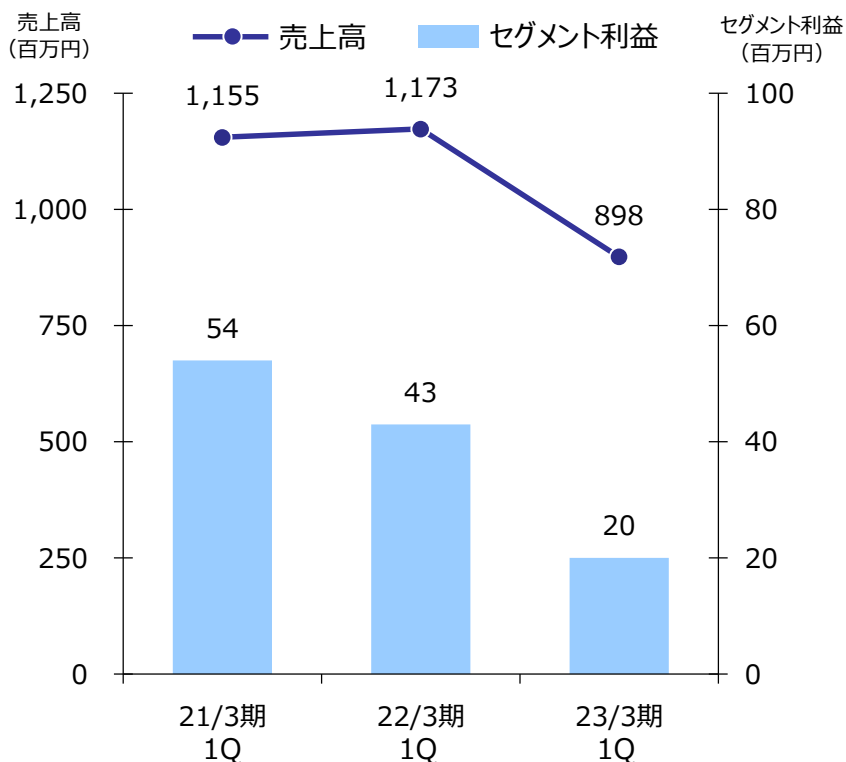
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



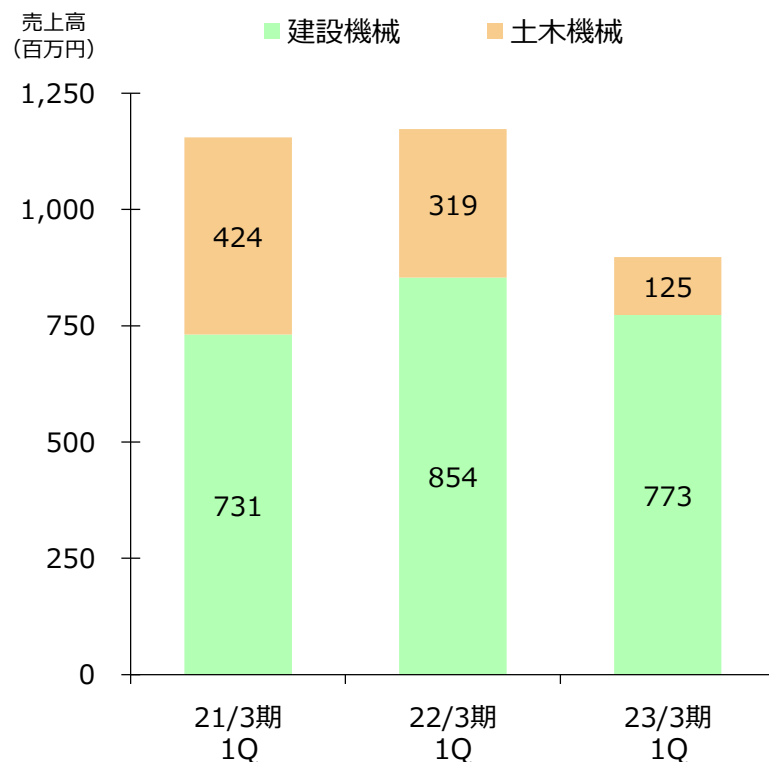
機械事業

- 建設機械は、消耗部品販売が低調に推移し、プラント販売が若干の伸びにとどまり減収。精密機械加工は増収。
- 土木機械は、本体販売が国内外で低調に推移し、減収。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

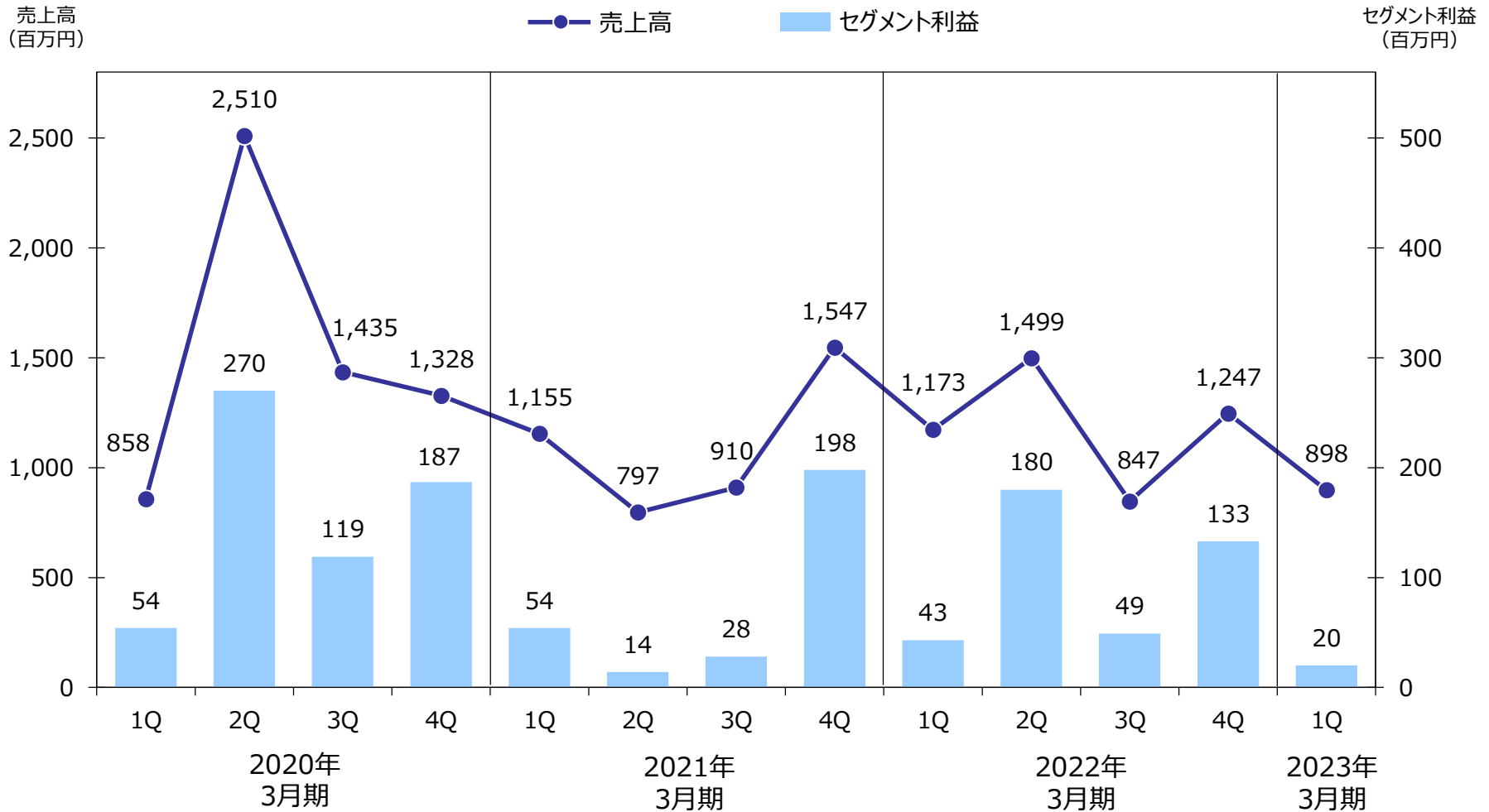


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

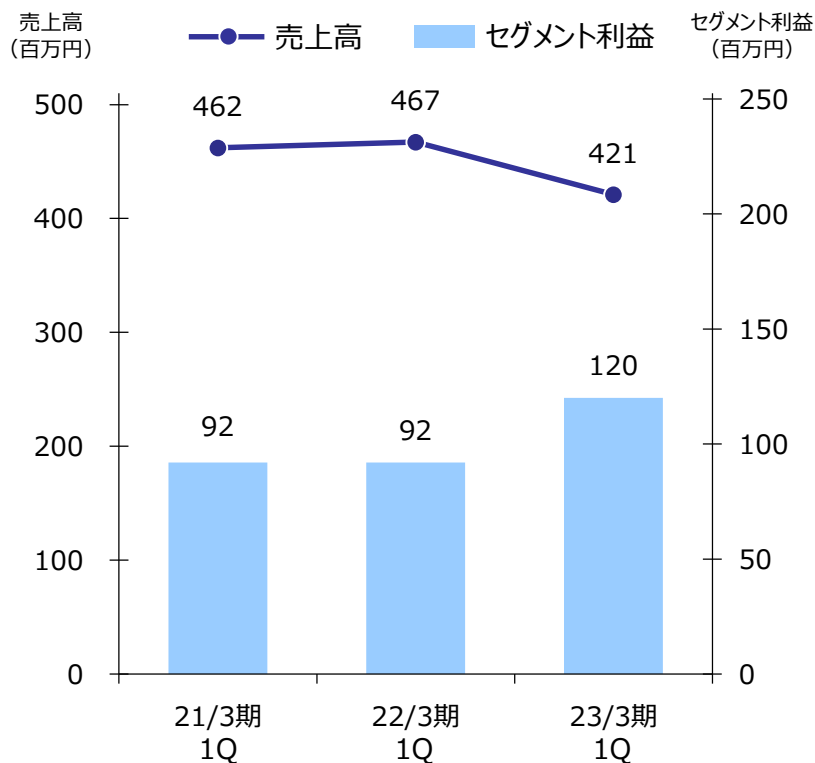
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



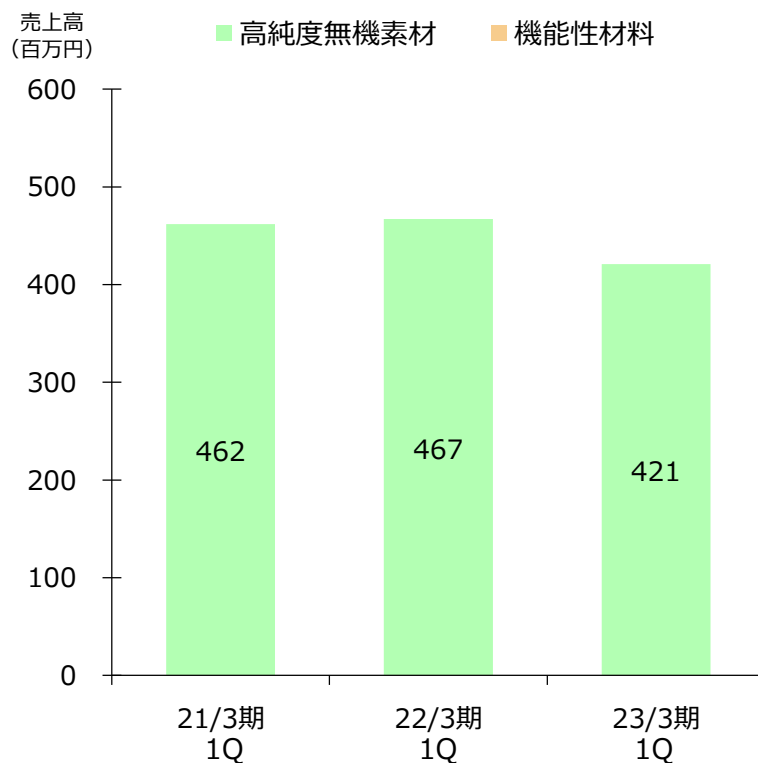
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、インジウムなどは堅調に推移したが、赤燐は工場棟爆発事故による生産停止（6月16日生産再開済み）が影響し、減収。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

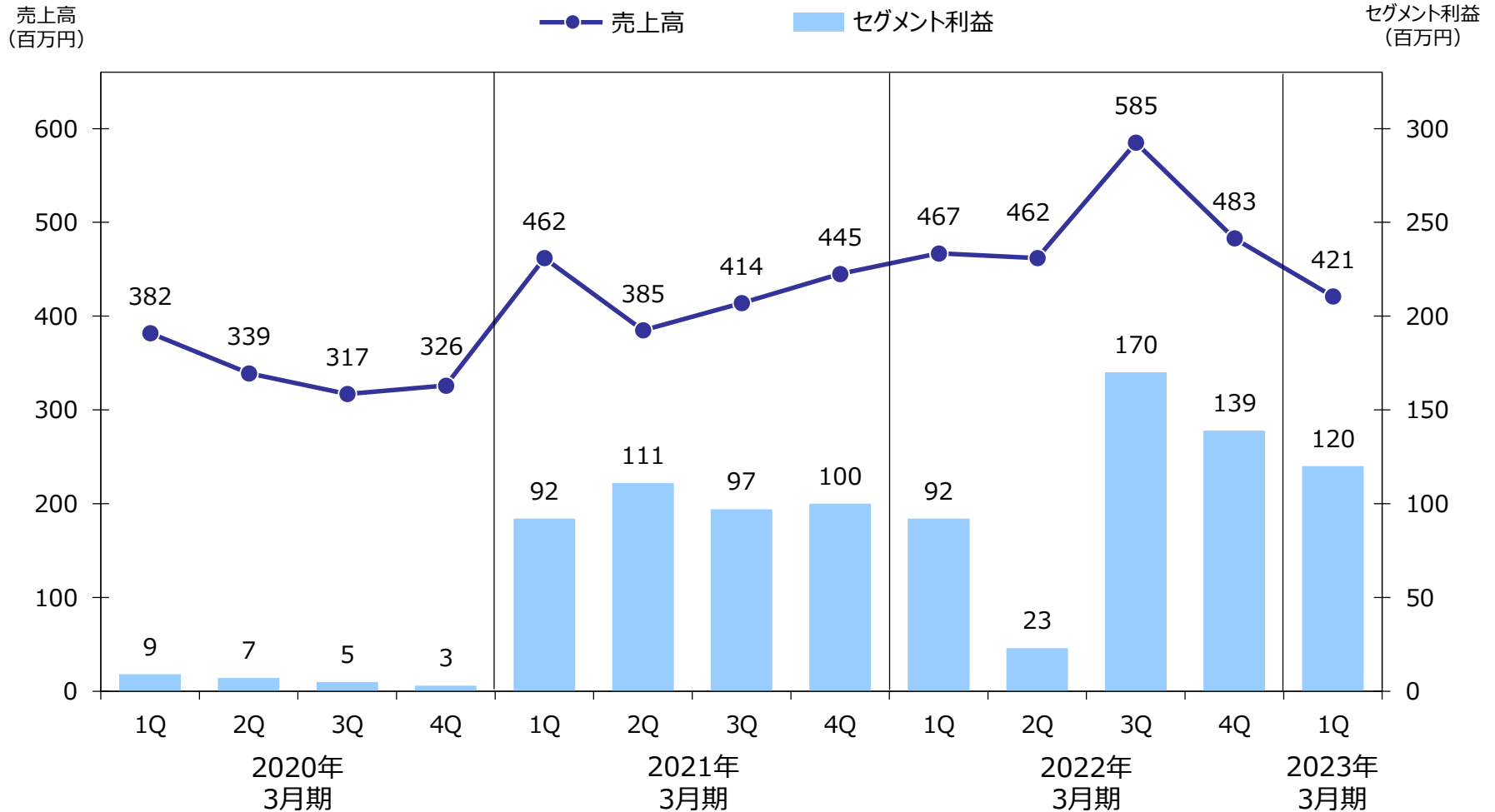


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2022/3期 第1四半期	2023/3期 第1四半期	増減	前年同期比
売上高	7,793	12,110	4,317	55.4%
売上原価	5,906	9,547	3,641	61.6%
販売費・一般管理費	1,137	1,169	32	2.8%
営業利益	749	1,392	643	85.8%
営業外収益	123	195	72	58.5%
営業外費用	84	80	△ 4	△ 4.8%
経常利益	788	1,507	719	91.1%
特別利益	—	—	—	—
特別損失	—	29	29	—
税金等調整前四半期純利益	788	1,477	689	87.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	522	1,011	489	93.6%
（減価償却費）	378	448	70	18.5%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2022/3月末	2022/6月末	増減
流動資産 計	19,584	23,674	4,089
現金及び預金	3,538	4,610	1,071
受取手形及び売掛金	10,378	12,237	1,858
たな卸資産 ※	5,337	6,432	1,094
固定資産 計	22,339	22,576	236
有形固定資産	18,566	18,719	153
無形固定資産	47	44	△ 3
投資その他の資産	3,725	3,812	87
流動負債 計	12,821	17,047	4,226
支払手形及び買掛金	4,264	5,036	771
短期借入金	5,806	8,740	2,933
固定負債 計	8,801	8,291	△ 510
長期借入金	5,337	4,813	△ 524
退職給付に係る負債	3,066	3,087	21
純資産	20,301	20,911	609
自己資本	20,206	20,803	597
非支配株主持分	95	108	13
総資産	41,924	46,250	4,326
<自己資本比率>	48.2%	45.0%	△ 3.2%

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

2023年3月期の業績予想（2022年8月10日見直し）

- 化成品事業は、半導体向け・電子部品関連の販売増、台湾子会社での増産投資による販売増、および原料高騰に対する製品販売価格の是正により増収増益。原材料価格の上昇や減価償却費の増加等のコストアップを見込む。
- 機械事業は、破碎関連機械においてプラント工事の販売増により、増収増益を見込む。
- 電子材料事業は、ガリウムなどの販売は堅調に推移し、高純度赤燐は計画通り生産を再開したことから、増収増益を見込む。

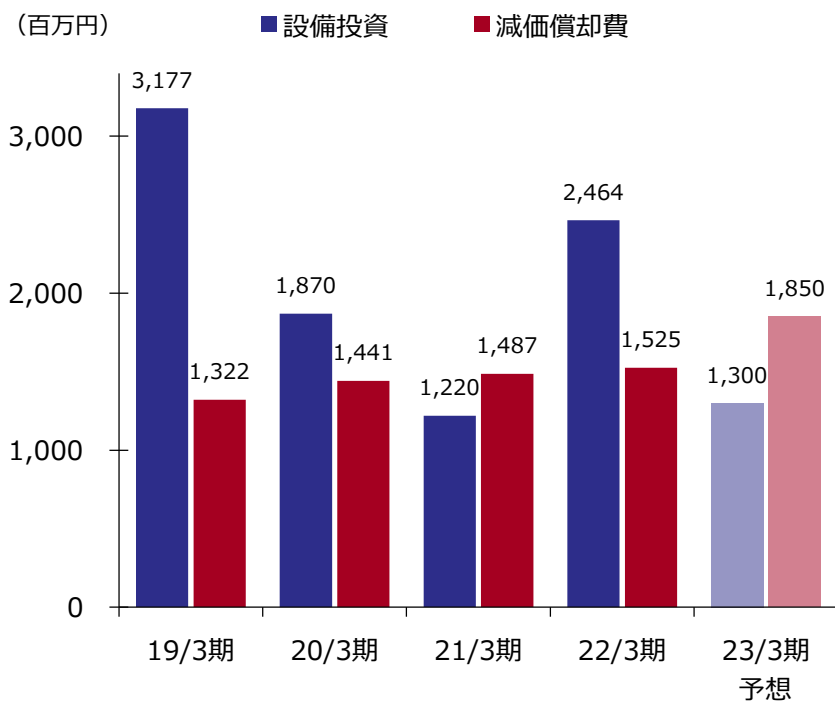
（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期予想	増減	前年同期比	(参考) 期初予想
売上高	35,411	52,600	17,189	48.5%	42,700
化成品事業	27,585	44,000	16,415	59.5%	34,000
機械事業	4,766	5,400	634	13.3%	5,500
電子材料事業	1,997	2,100	103	5.2%	2,100
その他の事業	1,063	1,100	37	3.5%	1,100
営業利益	3,475	4,500	1,025	29.5%	3,600
化成品事業	2,980	4,000	1,020	34.2%	3,100
機械事業	405	450	45	11.1%	500
電子材料事業	424	500	76	17.9%	450
その他の事業	688	650	△ 38	△ 5.5%	650
全社費用など	△ 1,024	△ 1,100	△ 76	7.4%	△ 1,100
経常利益	3,562	4,600	1,038	29.1%	3,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,538	3,200	662	26.1%	2,600
1株配当金	70.00円	70.00円	—	—	70.00円

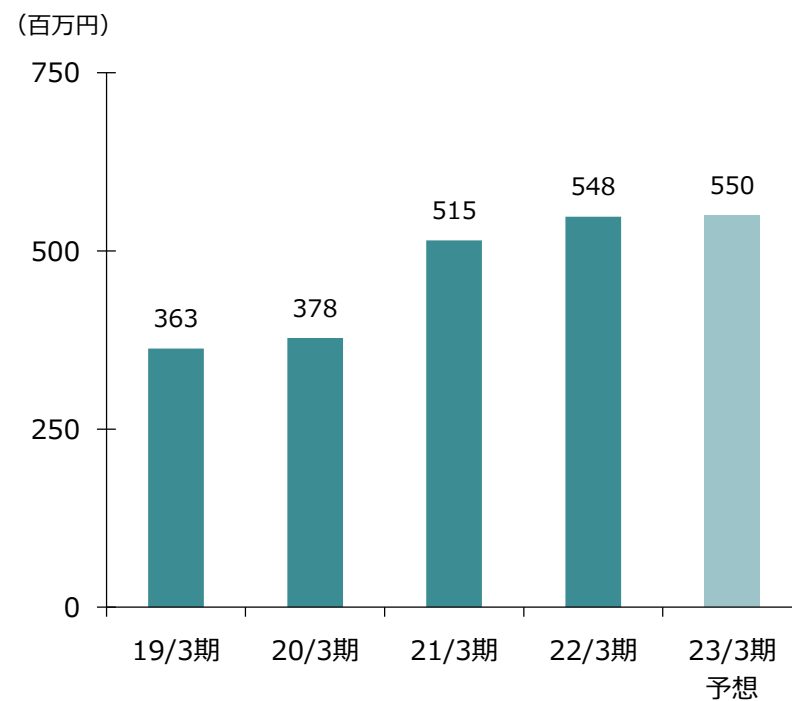
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、2022年3月期に、化成品事業の台湾子会社で、半導体向け高純度燐酸の製造設備を増設（投資額約20億円、台湾の生産能力5割アップ、2022年3月期完工）。2023年3月期は、維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835